

景気動向指数研究会 議事概要

1. 日時：平成 19 年 7 月 30 日（月）15:00～17:00
2. 場所：共用第 2 特別会議室（中央合同庁舎第 4 号館）
3. 出席者：（委員）
吉川 洋座長、刈屋武昭委員、小峰隆夫委員、嶋中雄二委員、樋 浩一委員、
福田慎一委員、美添泰人委員
（事務局）
黒田昌裕経済社会総合研究所長、広瀬哲樹経済社会総合研究所次長、
鈴木英之総括政策研究官、館 逸志景気統計部長 他
4. 主要議題：
 - (1) 座長の選出
 - (2) 景気動向指数研究会の運営について
 - (3) 最近の景気動向指数の動きについて
 - (4) 景気動向指数の改善について
5. 議事進行：

開会

黒田経済社会総合研究所長から挨拶

座長の選出

委員の互選により、吉川 洋委員（東京大学大学院経済学研究科教授）を選出した。

景気動向指数研究会の運営について

事務局より、景気動向指数の定点観測、指数の改善を図るため、今後は年に 2 回程度定期的に開催したい旨を提案、了承された。

最近の景気動向指数の動きについて

事務局より、平成 19 年 5 月分のデータに基づく景気動向指数の動きや現時点で暫定的に作成したヒストリカルDI（一致指数）（別紙）について説明、あわせて今景気循環の拡張期間は戦後最長の第 6 循環の 57 ヶ月（通称いざなぎ景気）を上回った蓋然性が高いとみられる旨を指摘。その後意見交換を行い、平成 19 年 5 月までのデータで試算したヒストリカルDIによれば、今景気循環の拡張期間は第 6 循環の景気拡張期間を超えた可能性が高いと判断することが妥当であるという点について、意見が一致した。

主な意見は以下のとおり。

 - ・ 今回の拡張局面について、いざなぎ超えの蓋然性が高いことに同意する。研究会の合意として、座長から公表することは適切と考える。
 - ・ 景気動向指数の定点観測をするのであれば、そのタイミングをルール化すべきではないか。

- ・ 研究会の開催の透明性を維持するためにも、開催時期は半年に1回程度のペースで定期的に開催することとし、開催日程もできるだけ早目に公表するようにはどうか。なお、足下の景気の状態については、本研究会として評価を行うべきものではないことで意見が一致したが、各委員の私見としては以下のような意見があった。
- ・ 一致C Iをみると、去年12月のピークを抜けず、かつあまり大きく低下している訳ではない。このように、足下の状況は、景気後退の定義からすれば後退にはいたらないが、踊り場のような状況と言えるのではないか。
- ・ 個別系列には不規則変動が多いことを前提とすれば、足下の状況の解釈には注意を要するという事ではないか。

景気動向指数の改善について

事務局より、景気動向指数の改善のため、参考系列として公表しているC Iの正式系列としての活用、景気の先行指標としての景気動向指数のあり方、新たな景気把握手法等につき検討を開始することを提案。その後、検討の方向性や課題について意見交換を行い、次回以降、D I重視からC I重視への移行のための諸課題について検討を行うことにつき合意した。

主な意見は以下のとおり。

- ・ C Iの活用に賛成する。従来は、D Iはユーザーにとってわかりやすいが、C Iはわかりづらいものだったので、どのような見方をすればよいか、誰でも入手可能な形で情報提供してほしい。
- ・ C Iを重視することには賛成。C Iの場合、月毎の変化が蓄積され、情報量が多いというメリットがある一方、不規則変動が大きくなるのがデメリットである。指標の選択が大変重要であり、現行の採用指標にとらわれずにしっかり検討すべきである。
- ・ D IとC Iでは用途も異なる。C Iへ移行する際は、景気とは何かという根本的な問題を考える必要がある。
- ・ 長期的には、景気指標として幅広い手法を検討の対象としてもよいのではないかと。短期的にはC IまたはC Iの変種を用いた簡単な手法を検討すべき。現在、「景気動向指数の利用の手引」にはC Iの計算式が掲載されているが、C Iとは何かということがわかりにくい。ユーザーにC Iのアイデアを伝えることが必要。C Iに移行するにはある程度の準備期間は必要だろう。
- ・ C Iを重視した公表形態にした場合、ブライ・ボッシュン法の妥当性は重要なテーマである。
- ・ 一致・遅行比率の先行性について分析するなど、遅行指数の活用についても取り組むべきではないか。

閉会

(速報のため事後修正の可能性あり)

ヒストリカルDI(一致指数)の動き

	平成14年(2002年)												平成15年(2003年)											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
景気基準日付	谷																							
C1 生産指数(鉱工業)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C2 鉱工業生産財出荷指数	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C3 大口電力使用量	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C4 稼働率指数(製造業)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C5 所定外労働時間指数(製造業)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C6 投資財出荷指数(除輸送機械)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+
C7 商業販売額指数(小売業)	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C8 商業販売額指数(卸売業)	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C9 営業利益(製造業)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C10 中小企業売上高(製造業)	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C11 有効求人倍率(除学卒)	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
拡張系列	5	7	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	11	11	11	11	11	11	11	11
採用系列数	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
一致指数	45.5%	63.6%	81.8%	90.9%	90.9%	90.9%	90.9%	90.9%	90.9%	90.9%	90.9%	90.9%	90.9%	90.9%	90.9%	90.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	平成16年(2004年)												平成17年(2005年)											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
景気基準日付																								
C1 生産指数(鉱工業)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C2 鉱工業生産財出荷指数	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C3 大口電力使用量	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C4 稼働率指数(製造業)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C5 所定外労働時間指数(製造業)	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
C6 投資財出荷指数(除輸送機械)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C7 商業販売額指数(小売業)	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C8 商業販売額指数(卸売業)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C9 営業利益(製造業)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C10 中小企業売上高(製造業)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C11 有効求人倍率(除学卒)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
拡張系列	11	11	10	10	10	10	9	9	9	9	9	8	8	8	8	8	8	9	9	10	10	10	10	10
採用系列数	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
一致指数	100.0%	100.0%	90.9%	90.9%	90.9%	90.9%	81.8%	81.8%	81.8%	81.8%	81.8%	72.7%	72.7%	72.7%	72.7%	72.7%	72.7%	81.8%	81.8%	90.9%	90.9%	90.9%	90.9%	90.9%

	平成18年(2006年)												平成19年(2007年)					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
景気基準日付																		
C1 生産指数(鉱工業)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
C2 鉱工業生産財出荷指数	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
C3 大口電力使用量	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
C4 稼働率指数(製造業)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
C5 所定外労働時間指数(製造業)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
C6 投資財出荷指数(除輸送機械)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
C7 商業販売額指数(小売業)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
C8 商業販売額指数(卸売業)	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
C9 営業利益(製造業)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
C10 中小企業売上高(製造業)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
C11 有効求人倍率(除学卒)	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
拡張系列	10	10	10	10	10	9	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7
採用系列数	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	10	10
一致指数	90.9%	90.9%	90.9%	90.9%	90.9%	81.8%	81.8%	72.7%	72.7%	72.7%	72.7%	72.7%	72.7%	72.7%	72.7%	70.0%	70.0%	